

自然学校を実施しました（5年生）

NO.2

活動を通して、大切なことを学んでいます

自然学校では、集団行動をしながら生活をしました。たくさんの魅力あるプログラムを用意されていますが、集団のルールを守らないと楽しい活動にはなりません。子どもたちは、活動をしながら、大切なことを学びました。

『集合する』ということ

いろいろな体験をする際には、集合をします。そこで、子どもたちと『集合』について考えてみました。集団行動をする上で、『集合』について共通理解することはとても重要です。



『集合』は、『集まる』という字と『合わせる』という字が組み合わされています。「**集まって、何を合わせるのでしょうか。**」子どもたちと考えました。

●タイミング・時間・息、気持ち・持ち物

- 集合が完了すれば次のことが始まるので、「**話が聞ける状態をつくること**」が、**気持ちを合わせること**だと思います。
- 『話が聞ける状態をつくること』は、話を聞くために**姿勢を正すこと、列を整えること、話し手と目をあわせること**がポイントです。
- 『聴く』とは、「**理解すること**」です。



『座り方』のポイントです。

おへそを前に出して、お尻を引きます。骨盤を立てます。つま先や目線、肩の位置を意識しましょう。

キャニオニング

2日目、子どもたちは、渓流でキャニオニングにチャレンジしました。水着の上に半袖の服を着、その上にウェットスーツとライフジャケットを着て、「いざ」



水温・水量ともに好条件のもと、活動ができました。

1日目よりも2日目、班意識が一層高まりました。

キャンドルファイヤー

子どもたちは、自然学校に行く前から、chrome book の meet を使ってスタンツの打合せを行っていました(課外)。当日は、雨が降ったため、室内でのキャンドルファイヤーに変更して行いましたが、子どもたちが時間をかけて準備をしてきたスタンツを、キャンドルの灯りにともされて近くでしっかりと見ることができました。



『なぜスタンツをするの?』ーキャンプファイヤーの始まりー

人が2人になると会話が始まる。3人4人になると、会話が盛り上がってきて得意なことを披露する人が出てくる。「私は、歌をうたいましょうか。」「ギターを弾いてあげましょうか。」・・・人が集まって、人を楽しませようとしたことがスタンツの始まりだそうです。

お家の人からの手紙を手にししました

自然学校2日目の夜、楽しかったキャンドルファイヤーの後の全体ミーティングで、お家の人からの手紙を担当が配りました。



5年生の保護者の皆様、自然学校で精一杯頑張っている子どもたちに、温かいお手紙を書いていただき、どうもありがとうございました。家庭の温かさを改めて感じたことと思います。目頭が熱くなる子もいました。

自然学校2日目。集合の仕方が上手になりました。みんなで共通理解した『集合』の意味が理解できています。また、お互いに声をよくかけ合うようになりました。自分のことだけを考えるのではなく、周りの人のことも考えて行動できるようになってきました。